



# 令和6年能登半島地震被害に 対する支援について

令和6年1月16日

宮崎県

# 令和6年能登半島地震被害に対する支援について

## 1\_救命・救助活動等

### 【現地・国・全国知事会】

- DPAT：全国に派遣要請
- 1/12に全国自治体病院開設者協議会、全国自治体病院協議会及び全国知事会から全国の自治体病院・知事に対して看護師派遣要請

### 【宮崎県】

- DMATについては、1/18～2/4に宮崎県から1チームの派遣依頼あり（期間中6チームを継続して派遣）
- DPATが派遣に向けて調整中
- 県警が1/9広域緊急援助隊等26名を石川県に派遣
- 県保健師チームは1/19～3/31の期間で石川県珠洲市での活動決定（宮崎市とも調整中）
- 県立病院看護師について派遣依頼があり、現在調整中
- 災害支援ナース、歯科医師等は、本県への派遣要請なし
- 日赤宮崎県支部は、6名が1/29～1/31で石川県七尾市での活動を予定
- JMATの宮崎市郡医師会病院チーム（4名）が1/15～1/17の期間で活動決定  
宮崎大学医学部附属病院のチームが1/23～1/25の期間で活動決定
- 県薬剤師会の薬剤師3名が1/18～1/20の期間で石川県で活動予定
- 介護職員等について派遣調整依頼があり、派遣可能職員リスト作成中
- JRATについて、派遣可能の可否調整中

# 令和6年能登半島地震被害に対する支援について

## 2\_職員の派遣

### 【現地・国・全国知事会】

- 全国知事会長と防災担当大臣との協議により、人の支援は国が統制（別紙「参考」参照）
- カウンターパートの決定は、基本的には中部や近畿など隣接地域で対応

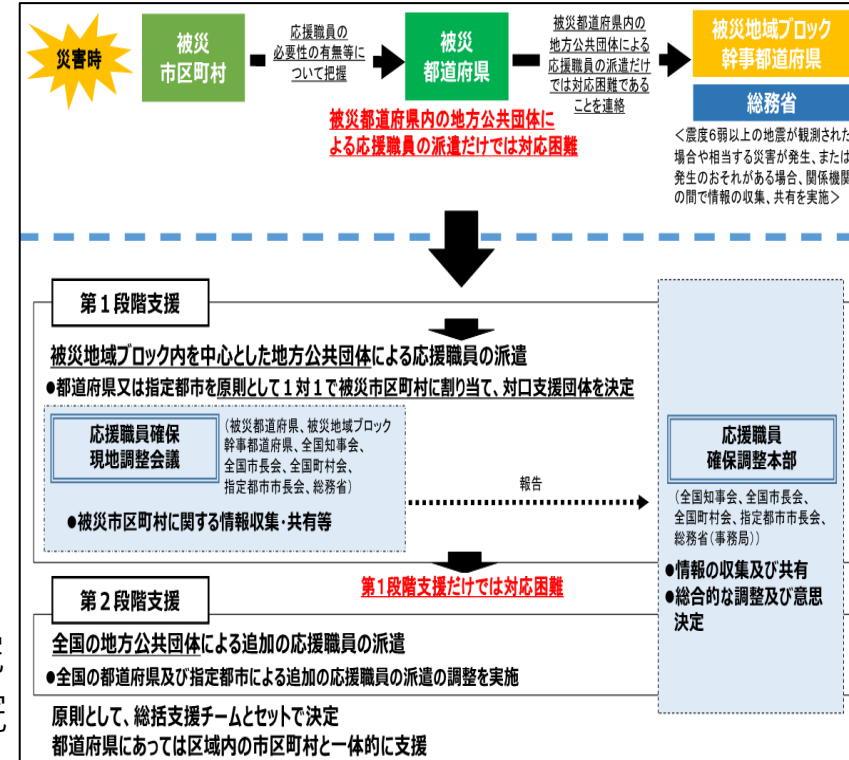
### 【九州知事会】

- 情報収集のため事務局2名が1/4現地入り（熊本県職員）

### 【宮崎県】

- 全国知事会等からの要請を基に、県内市町村と連携し現地の状況に応じた職員を派遣予定（現時点での派遣要請なし）

- ※再掲（DMAT） 1/18～1/20 県立延岡病院  
1/23～1/26 県立宮崎病院
- 再掲（県保健師チーム） 1/19～3/31



# 令和6年能登半島地震被害に対する支援について

## 2\_職員の派遣（参考）

令和6年能登半島地震に係る総務省「応急対策職員派遣制度」による総括支援団体、対口支援団体の決定状況

1月14日（日）19時時点

受援団体		総括支援団体	対口支援団体
石川県	志賀町	愛知県	愛知県、神奈川県、横浜市、鳥取県、岡山市
	七尾市	名古屋市	名古屋市、さいたま市、京都府、京都市、埼玉県
	輪島市	三重県	三重県、東京都、川崎市、大阪府、大阪市、堺市、徳島県、北海道、長野県、静岡市、岐阜県、愛媛県
	穴水町	静岡県	静岡県、奈良県、栃木県
	珠洲市	浜松市	浜松市、福井県、千葉県、千葉市、兵庫県、神戸市、山梨県、熊本市
	能登町	滋賀県	滋賀県、和歌山県、茨城県、宮城県、岩手県
	加賀市	—	静岡市
	羽咋市	—	長野県
	中能登町	—	岐阜県
	津幡町	—	相模原市
	かほく市	—	群馬県
	宝達志水町	—	札幌市
	内灘町	—	仙台市
金沢市	—	仙台市	
富山県	氷見市	—	福島県
	高岡市	—	広島市
	射水市	—	青森県
新潟県	新潟市	—	山形県、秋田県

# 令和6年能登半島地震被害に対する支援について

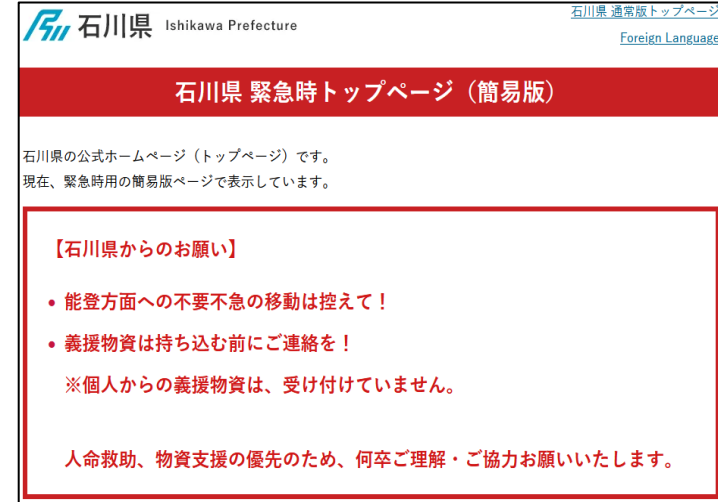
## 3\_物資支援その他

### 【現地・国・全国知事会】

- 全国知事会長と防災担当大臣との協議により、物資の支援は国が統制
- 災害義援金は、1/4から石川県が受付開始
- 給水について、日本水道協会対応中
- 給水について、熊本市及び福岡市が派遣
- 石川県要請の被災建築物応急危険度判定は、中部ブロックで概ね確保できる予定

### 【宮崎県】

- 石川県に災害見舞金を300万円寄付する予定  
(県議会と連名)  
他の被災県については、今後の被害状況を踏まえ対応
- 県に対し給水車の派遣依頼があったが、県で保有している給水車はなし  
(宮崎市が給水車等を派遣、延岡市・小林市が飲料水の物資支援)
- 災害義援金募金箱を本庁は1月5日、出先機関は9日に設置
- 被災者の一時的な居住の場として公営住宅を提供可能(370戸程度確保)



# 令和6年能登半島地震被害に対する支援について

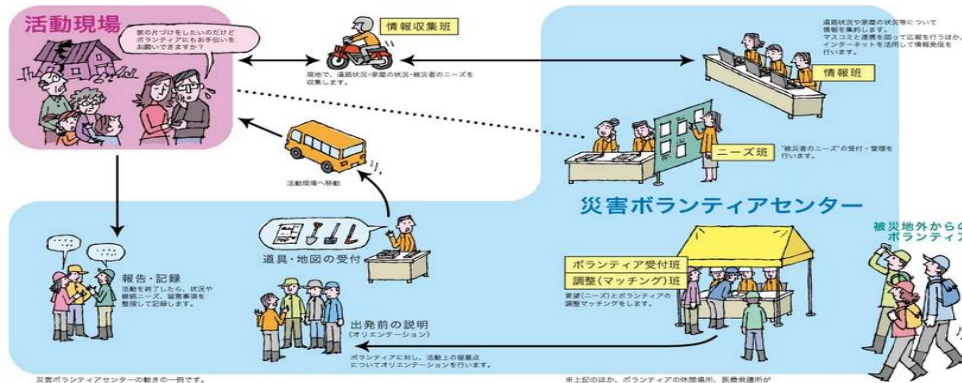
## 4\_ボランティアによる支援

### 【現地・国・全国知事会】

- 石川県、新潟県、富山県の一部で災害ボランティアセンターが開設されており、ボランティアの募集は事前登録制
  - 新潟県や富山県の一部の災害ボランティアセンターでは被災者支援活動を開始
  - 石川県では金沢市における1.5次避難所開設のためのボランティア募集開始（募集範囲は金沢市在住者に限定し、1/13から活動）
- その他の被災地での一般ボランティアによる被災者支援活動の開始時期は未定である

### 【宮崎県】

- 被災市町村におけるボランティアの受入体制を確認するとともに、被災地の要望等について県内NPOと協力し状況把握中
- 県内NPOが、被災地に向けた支援物資の収集に着手





本県では、今後30年以内に70%～80%の確率で南海トラフ地震の発生が危惧されています。

最大クラスの地震が発生した場合、県内全市町村が震度6以上の地震に襲われ、このうち13市町においては震度7を観測するとともに、県沿岸（延長400km）全域で津波の浸水被害を受ける可能性があります。

平時より、大規模災害から命を守る「3つの行動」を心がけるようにお願いします。

## 耐震化


## 早期避難

## 備蓄


1 家の耐震化と家具の転倒・落下防止を!



2 危険を感じたら安全な場所へ早めの避難を!



3 災害後1週間は備蓄で乗り切る準備を!



### 家具の転倒防止



『L字金具』や『ベルト式器具』、『突っ張り棒』などで壁や天井と固定させましょう。

### 家具配置の工夫



家具が倒れた時に出入口をふさいだりしないよう、家具の向きや配置を工夫しましょう。

### 警戒レベルを確認 早めの避難



災害発生の危険性が高まるにつれて、防災気象情報（気象庁）や避難情報（市町村）が発表・発令されます。

### 避難場所や 避難経路の確認



いざというとき、安全に避難行動ができるように、避難場所はどこか、安全な避難経路はどこかなどを、ハザードマップなどで確認しておきましょう。

### まず必要なのは 水と食料



最低3日分（できれば1週間分）の水と食料を備えておきましょう。

### 家庭状況によって 必要な物は変わる



乳幼児がいる、寝たきりの高齢者などの要介護者がいるなど各家庭の事情に応じた備えが必要です。